

こどもの森教育のエッセンス

私たちは、こどもの森学園の教育を通して、子どもたちが自立する力や協働する力、創造する力を養い、人生を幸福に生き、民主的で持続可能な社会を担う人に育ててほしいと願っています。

健やかな心とからだを育む

- 01 子どもたちは、日々遊んだり、話したり、からだを動かしたりします。そのなかでいろいろな考えや感情が生まれ、それを表現することによって、心とからだの健やかな成長の土台が築かれます。〈自分を表現する〉
- 02 子どもたちは、好奇心や探究心から、初めてのことや少し難しいことにチャレンジし、自分のできることの範囲を広げます。〈チャレンジする〉
- 03 子どもたちは、何を学びたいか、どのような方法で、どのような進度で学ぶかを自分で計画して、学習に取り組みます。そして、学んだことを振り返ります。このことによって、自律して学習する習慣を身につけます。〈自律して学習する *Carry out learning autonomously*〉
- 04 子どもたちは、遊びや学習、自然との触れ合い、周りの人たちとの関わりのなかで、自分のやりたいことに出会います。それを追求することによって、自分の人生をデザインする力が養われます。〈人生をデザインする力を養う〉

人とよい関係を築く

- 05 子どもたちは、日々の活動の中で自分を大切にするとともに、他の人も大切にすることを学びます。このことによって、自分を信頼する気持ちや他の人を思いやる気持ちが育まれます。〈自分も人も大切にする〉
- 06 子どもたちは、異なる年齢や性別、個性や背景を持った人たちと話し合い、協力しながら、ものごとに取り組みます。このことによって、他の人を理解し信頼する気持ちが育まれます。〈協力して活動する〉
- 07 子どもたちは、集会などにおいてもものごとを決めるときは、多数決ではなく、全員が納得いくまで民主的に話し合います。対立が起こったときは、対話によって平和的に解決します。〈対話して問題を解決する〉

世界とつながって生きる

08 子どもたちは、自分が世界とどうつながっているのかを知るために、ものごとを多角的にそして全体的に考えます。＜多角的・全体的に考える＞

09 子どもたちは、人と社会、人と自然が深くつながっていることを理解し、地球環境の保全と人類の発展が調和する平和で持続可能な社会づくりに貢献します。＜持続可能な社会づくりに貢献する＞